

設備工事情報シート	電気	IV-E-3-改 ₂	制定	2004年4月1日
			改訂	2014年2月1日
アフタークレーム	間違いやすい設計・施工事例		打込み配管よりの騒音	

1. 目的・概要

共同住宅において、自室～隣戸間や自室～共用部間に渡り配管を安易に施工すると、思わぬ騒音を発生する場合があります。以下に不具合事例を示す。

2. 不具合事例

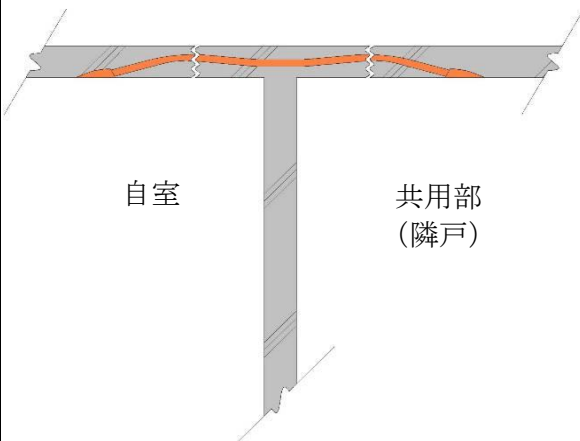


* 設置状況

2LDK分譲マンションで「レンジフードを運転すると室内でポコポコ音がすることがある」という不具合が発生した。騒音発生源を探したところ和室天井内であり、自火報の各戸渡り配管（特例適用無し）エンド部分からであることがわかった。

* 不具合状況

レンジフードに限らず壁給気口を閉じていると、便所天井扇を運転した場合においても同種の騒音が発生した。原因としては隣戸との渡り配管のなかになんらかの要因で水が溜まっており（結露と予測される）負圧になった際の隣戸空気を吸い込むことに起因することがわかった。



その他

- ・ 負圧解消のために空気が流通し風切音が発生する。
 - ・ 配管を通して直接音が伝播する。
- 等、種々の問題が考えられる。

3. 処置方法



* 是正措置

当該住戸は最上階ではあるが、屋上は外断熱であった。築後3年を経過し、住戸内への明確な漏水がないことから考えて、渡り配管内部空気が結露したものと想定した。このため配管口を耐火パテ注入にて処理し、隣戸からも同様な処置を行った。

* ポイント

共同住宅の住戸部の壁、スラブには基本的に配管を打ち込まない。やむを得ず隣戸間に渡り配管を打ち込む場合はクロストークの件も考慮し密封することが好ましい。

* 打ち込み配管の駐車場の降雨、積雪に関する事例は、IV-E-4、IV-E-6 参照

資 料